

道しるべ

第63号

令和 8 年 8 月



一般社団法人 石川県舗装業協会



写真：主要地方道 小松辰口線〔小松市軽海町～遊泉寺町〕
(写真提供：石川県南加賀土木総合事務所、編集委員会)

目 次

創造的復興に向けた災害に強い地域づくり 石川県土木部長 木村 康 博	1
新天地への思い 丸建道路(株) 代表取締役社長 村 山 雅 人	2
安全委員会だより 令和7年度 ほそうセーフティ・ドライブ・コンテスト 安全委員 中 出 修 悦 〈島屋建設(株)〉	3
2025年度 国土と交通等に関する知事表彰 工事報告 島屋建設(株) 現場代理人 谷 内 紀 彰	5
あの日の記憶 沢田工業(株) 能登営業所 営業部 浦 奈津美	7
3 回目の道しるべと私のゴルフ道 丸建道路(株) 金沢支店 営業部長 山 口 竜 博	8
入社してからの1年間 (元気くん) 盛進工業(株) 工事部プラント課 平 澤 祥 人	9
思えばここまで来たもんだ (二人三脚) 「大切な夫婦のトリセツ」 北川ヒューテック(株) 金沢本社 山 本 秀 克	10
事務局アラカルト	11
災害対策委員会による要望など	13



環境にやさしい道路づくり

石川舗道株式会社	加州建設株式会社	株式会社金沢舗道	北川ヒューテック株式会社	協和道路株式会社	沢田工業株式会社	三友工業株式会社	島屋建設株式会社	盛進工業株式会社	太陽工業株式会社	辰村道路株式会社	林舗道株式会社	丸建道路株式会社	吉田道路株式会社
----------	----------	----------	--------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------

創造的復興に向けた災害に強い地域づくり



石川県土木部長

木村 康博

令和6年能登半島地震の発災から2年半余りが経過しました。この間、(一社)石川県舗装業協会におかれましては、道路復旧に多大なるご尽力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。

「石川県創造的復興プラン」において短期目標として掲げた令和7年度末までに、県管理道路の通行止めについては、大規模な被害のあった5路線8箇所を除き、すべて解消しました。現在は応急復旧の段階から本復旧の段階へと移行しているところです。

今後は、奥能登2市2町へのアクセスルートなど優先度の高い箇所について、令和10年度までの本復旧完了を目指しており、貴協会の皆様には引き続きご協力をお願い申し上げます。

また、創造的復興の取組の一環として、能登半島の海沿いの道路を「能登半島絶景海道」として整備し、平常時には絶景を楽しむサイクリングルートとして、災害時には路肩を活用したすれ違い通行が可能な強靱な道路として機能するよう、幅広路肩の整備を進めていくこととしています。

さらに、人口減少が著しい能登地域において持続可能な地域づくりを進めるためには、金沢・能登間や市町間の移動のハードルを下げる道路整備が不可欠です。そのため、のと里山海道の徳田大津JCT以北については、国において機能強化に向けた調査が進められているほか、奥能登地域の道路ネットワークについても、珠洲道路や門前道路などの機能強化に向け、国・県・市町等で構成する検討会を設置しました。今後は各路線の課題を抽出・

整理したうえで、優先的に整備すべき区間等の検討を進めてまいります。

このほか、本年7月には、延長500kmを超える「いしかわ里山里海サイクリングルート」が国のナショナルサイクルルートに指定されました。これを契機として、国内外から多くのサイクリストが本県を訪れることが期待されており、今後はこれまで以上に安全で快適な自転車通行空間の整備が求められます。能登半島絶景海道の取組と相まって、能登の復興を後押しする効果が生まれることを期待しています。

一方、本県の持続的な発展に向けては、県内全域における人流・物流の活性化に資する広域交流基盤の整備も重要です。このため、のと里山海道の4車線化をはじめ、金沢外環状道路海側幹線や加賀海浜産業道路などの幹線道路整備を着実に推進してまいります。

また、限られた予算の中で道路ストックを維持していくためには、舗装補修のマネジメントをより効率的に行う必要があります。これまで目視に頼ってきた舗装の健全性の把握について、AI・ICTを活用した舗装点検技術を導入することで客観的な評価を可能とし、補修の優先順位を明確化したうえで、損傷の程度に応じた効果的な舗装補修を実施していきたいと考えています。

今後とも、道路舗装を通じて交通機能の確保に多大な貢献をいただいている貴協会の皆様とともに、より安全で魅力ある石川県の実現に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。貴協会のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

新天地への思い



丸建道路株式会社

代表取締役社長 村山 雅人

妻と一緒に千葉県我孫子市から金沢市に転居してまいりました。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。新天地での仕事や生活に不安はないとは言えませんが、ワクワクの方が勝っている現状でございます。

63年前の4月に東京都大田区で生まれました。両親は新潟県十日町市にルーツがあります。大学を卒業後、当社の親会社である東亜道路工業に入社し、当時は横浜市にありました技術研究所でアスファルト乳剤や改質アスファルトなどの道路資材の研究開発に従事しました。その後、技術担当として中部支社に転勤し、愛知県岩倉市に住みました。ここが初めての新天地になります。入社2年目に出会った妻とはその頃に結婚し、二人での生活をスタートいたしました。3年後、再び技術研究所に異動となり、室長、所長を務め、十数年の間、様々な新製品や新技術の開発に取り組みました。途中で、技術研究所は横浜市から茨城県つくば市に移転しています。

研究や開発には醍醐味を感じており、大好きな仕事でしたが、いつまでもさせていただくわけにはいかないようです。8年前に九州支社長として福岡市に転勤になりました。第二の新天地です。研究所長から支社長になった前例はなく、内示を頂いたときはびっくりしましたが、周りの協力を得て、何とか5年間務めさせていただきました。今では趣味としておりますゴルフは、福岡で始めることになりました。というのも、九州支社で会員になっているゴルフ場（しかも名門）を前任者から引き継がなければならなかったからです。さあどうしよう…。打ちっぱなしで闇雲にゴルフボールを打ちまくりました。はじめは少し

も楽しくなかったのですが、それでも少しずつスコアも良くなってきて、今ではゴルフが大好きになってしまいました。この年になっても成長できるのが良いですね。本当にいい趣味を始めさせていただいたと、今では、会社に感謝です。

3年前に六本木の本社に異動となり、技術本部長、製品事業本部長を致しました。そして、4月に当社に出向となり、6月の取締役会で前任の大竹（現在は取締役会長）と交代し、代表取締役社長に就任いたしました。

新天地金沢に来て3か月が経とうとしています。能登方面も廻らせていただき、改めて地震災害の大きさを実感しました。災害にあわれた方々には、お見舞いを申し上げます。また、たくさんの復旧復興工事が忙しく行われており、従事されておられる方々には頭の下がる思いです。私も微力ながら、石川県舗装業協会の一員として貢献させて頂きたいと思っています。

最後に、私の車をご紹介します。妻とは「うちの子」と呼んで可愛がっています。この車にゴルフバックを積んで、たくさんのゴルフ場に行きたいと思っています。仕事もゴルフも頑張ります。それと、石川県には美味しいお酒や食べ物、温泉、素晴らしい歴史と文化がある。ワクワクせずにはられません。



安全委員会だより

令和7年度 ほそうセーフティ・ドライブ・コンテスト

安全講習会・講演会

1. はじめに

恒例の安全講習会・講演会が、本年2月25日『ANAホリデイ・イン金沢スカイ』において開催された。出席者は会員各社の代表者、安全担当者、安全委員、協会事務局など総勢33名が出席した。



2. 安全講習会

・開会挨拶（会長挨拶）

北川会長より、「今回のドライブコンテストで優秀な成績を収めた方々が表彰されるわけですが、安全運手を心がけることは我々の業界活動を無事に進めることと直結することになる。事故を起こしてしまうと家族や会社に迷惑をかけることになるので、くれぐれも運転に注意してほしい」と開会にあたり挨拶があった。



北川会長 挨拶

・ドライブコンテスト結果発表

期間は、令和7年10月1日から令和8年1月31日までの4か月間で、参加は14社43チーム423名。結果、38チーム（373名）が無事故無違反を達成し、賞状と記念品が贈

られた。また、参加全チームが無事故無違反を達成した9会社には表彰式が行われた。個々の達成者は417名で達成率98.6%の結果であった。



ドライブコンテスト表彰

・ドラコン講評と安全講習会

講評と安全講習を自動車安全運転センター石川県事務局長である泉栄盛三氏から頂いた。

今回の結果について「事故件数比率は、土木建設業の全国平均が0.3%である



泉栄所長 講評

ところが0%であった。また、違反件数比率についても全国平均より下回っており、今後この状態を是非続けていただきたい」と講評を受けた。また、「今回のコンテストでも速度違反が件数で一番多かったが、令和7年の石川県警の違反取締件数は44,810件であり、うち速度違反、一時停止違反、シートベルト違反が27,224件で全体の約60%を占めることとなるため、今後、各社で指導の際は是非この3つの違反を重点的に指導されたい」との依頼があった。

3. 講演会

演題は「言葉を通して心をつなぐ」とし、フリーアナウンサーの平見夕紀氏からでした。



平見夕紀氏 講演

平見さんは七尾市出身で法政大学を卒業された後、テレビ金沢にアナウンサーとして入社され、現在はフリーアナウンサーとして、石川県を中心に活躍しておられます。

今回は、アナウンサーとして得た経験を通じて、「言葉による伝え方」や「コミュニケーションの取り方」など、失敗談などを交えた大変楽しく、また心に響くお話でした。

一つ目の「言葉による伝え方」として、入社して初めて先輩から言われたことは「言葉を扱う人間として言葉で人を傷つけてはいけない」ということで、今でもこれを心にとどめて仕事をされているとのこと。言葉は人の人生を支えたり、時にはその人の人生を変える力があります。そして、言葉を伝えることで何が大事かという、それは共感だとのこと。

アナウンサーは放送時に泣いてはいけないといわれていた時に、あるアナウンサーがF1レース中に死亡事故を起こした状況を涙を出しながら放送をしていたことがありました。アナウンサーは泣いてはダメなのですが、この時は見ている人にはその涙の意味が伝わる、



共感できると思われました。気持ちを共感するということが伝えることであると感じ、この時改めて、見ている人と共に感情を共にする、心を動かすことのできるアナウンサーを目指すこととしたそうです。

次に「コミュニケーションの取り方」の話として、コミュニケーションにおいては話すことより、聞くほうが大事であり、また聞くために大事なことは相手が安心感を抱くことです。そして、安心感を与えるのは、まず「肯定し」、「うなづきなどのリアクション」、そして「話のすれ違いをなくす」。「すれ違いをなくす」とは、話す相手の内容よりもその時の相手の感情を理解し、共感を得ることが大事ということです。これは、男女間の会話で男性は内容や結論を早く聞きたがり、女性はその時の感情を聞いてほしいなど、よくすれ違いが起きます、なんとなくわかる人が多いと思われま。

最後に聞くためには、上手に質問することが大事で、相手の言葉に共感し自分のことばで聞いてみる。そうすると、初めて聞くと話す呼吸のように組み合わせられコミュニケーションが取れるのです。

これらの話聞いて、普段私たちが何気なく行なう会話は、その言葉によくも悪くも十分な力があるということが考えさせられました。

4. 閉会挨拶(副会長挨拶)

瀧田副会長から講師への御礼と閉会の挨拶があり、安全講習会・講演会を締めくくりました。



瀧田副会長 挨拶

(安全委員 中出 修悦 〈島屋建設(株)〉)

2025年度 国土と交通等に関する知事表彰 工事報告



島屋建設株式会社

現場代理人 谷内 紀彰

1. はじめに

本工事は、能登半島地震により被災した『のと里山海道』の災害復旧工事であり夜間工事にて、路床から舗装打ち換えを行い日中は交通開放するものであった。



〈着工前写真〉



〈完成写真〉

2. 工事概要

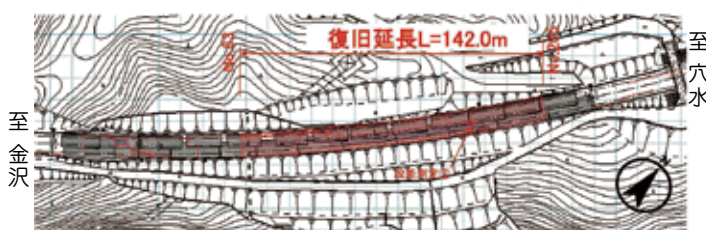
■工 事 名：6 災 1013 号 主要地方道 金沢田鶴浜線 道路災害復旧工事（その 2）

■施工場所：羽咋郡志賀町矢駄地内

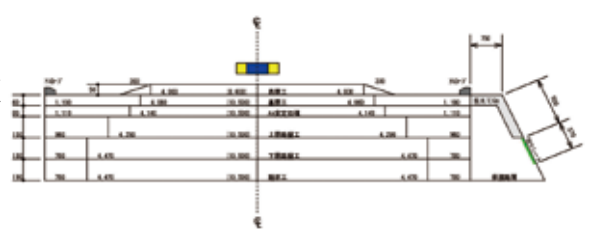
■施工内容：施 工 延 長 L=142.0 m	表 層 工 A=1,193 m ²	基 層 工 A=1,460 m ²
上層路盤工 A=2,716 m ²	下層路盤工 A=1,464 m ²	盛 土 工 V= 370 m ³
区 画 線 工 L= 720 m	防 護 柵 工 L= 189 m	ア ス カ ー プ L= 186 m
防草コンクリート A= 159 m ²	植生シート工 A= 70 m ²	ランブルストリップス L= 288 m



〈工事位置図〉



〈復旧延長 L = 142.0 m〉



〈標準断面図〉（6 災 1013 号）

3. 現場条件

- ・ 現況道路に亀裂や陥没箇所が存在する中で、工事期間中の二次災害防止
- ・ 高速走行する自動車専用道路の為、平坦性の高い舗装仕上げ
- ・ 限られた時間の中での夜間工事の為、各工種の品質確保
- ・ 舗装会社 12 社による工事の為、隣接工区との安全管理と工程管理

4. 課題への取組

- ・ 復旧工事にあたり、日中交通開放時に現況地盤高と計画復旧高に差異があり大きな段差が生じること、また現況の亀裂や陥没により危険が生じる恐れがあった為、道路利用者の安全走行を重視して事前準備工としてレベリング舗装を行い対策しました。
- ・ 出来形面として、この道路は奥能登地域に繋がる重要路線であることから、路面の平坦性に注視して盛土工から表層工の仕上がり高を基準高計測（レベル測定）にて管理した。また、舗設作業時には捕捉する舗装面の高さを音波で平均値として捉え、仕上がり面の不陸を抑えられる仕組みの非接触式ソニックセンサーを利用した結果、平坦性試験値『1.00mm以下』に仕上げる事ができ、舗装継ぎ目の仕上がりも良好となりました。
- ・ 品質面では、アスファルト混合物の温度低下防止対策として、金沢からの出荷であったので運搬距離・時間を考慮して合材プラントと協議を行いアスファルト混合物の出荷温度を高め設定し、運搬時は保温シートで二重に覆いました。また、転圧作業時にはカットバック防止性が非常に高く、アスファルト舗装面の仕上がりが良い付着防止剤を使用し、品質低下防止に努めました。
- ・ 工程管理では、舗装会社 12 社・26 工区で工事安全連絡会を立ち上げ、この中で工程表を作成・共有して円滑な工程管理を行いました。

いました。工事期間は約 2 ヶ月ありましたが、他工区間とのトラブルは無く、安全作業で全工事を工期内に完成できました。

5. おわりに

このたび、優良建設工事知事表彰を賜り大変光栄に思います。これもひとえに、的確な指導をして頂いた中能登土木総合事務所のと里山海道課の監督員ならびに職員の皆様、献身的な支援をして頂いた工事に携わった全ての皆様の協力のおかげです。感謝と御礼を申し上げます。



工事着手前舗装（レベリング）



基準高計測状況



ソニックセンサー（As 舗装時）

カットバック試験



アスクリーン 10 倍希釈液
カットバックを起こしておらず、試験ブロックは、安定した品質

軽油
カットバックを起こして、アスファルトが溶け出している

あの日の記憶



沢田工業株式会社

能登営業所 営業部 浦 奈津美

令和6年の能登半島地震に際し、温かいご支援をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今回「道しるべ」の原稿依頼があり、何について書こうか悩みました。地震から早2年たち、今更かもしれないという思いもよぎりましたが、あの日の経験と、感謝の気持ちを伝えたいと思い書いてみることにしました。

令和6年1月1日元旦。その日は末っ子の8歳の誕生日でパーティーを開き、家族団らんの時間を過ごしていました。元日らしく天気良かったため、末っ子と甥っ子は外で元気に遊んでいました。そんな平穏を破ったのが一度目の大きな揺れです。驚いた子供たちは慌てて家の中に入り安堵したのも束の間、それを遥かに凌ぐ激しい揺れが私たちを襲いました。窓からは隣の家が崩壊し我が家に倒れてくのが見えるのです。もしあのまま子供たちが外にいたらと思うと、今思い出しても身の毛がよだつ思いがします。

長女は神社の境内にある建物の中にいました。安否を確かめようにも、恐怖のあまり手が震え携帯電話の操作がうまくできず、なかなか電話をかけることができませんでした。ようやく連絡がつき、一度目の揺れで外へ出たこと、直後の揺れでその建物が全壊したことを知りました。家族全員の無事を確認できた時の安心感は忘れられません。



外へ出ると、見慣れた街並みは一変していました。さらに川の水が見たことのないほど引いているのです。「やばい！津波が来る!!」急いで高台へ避難しました。不安と寒さの中で過ごした時間は忘れることができません。そんな中、会社の方々がいっしょに物資を届けてくださり、本当に心が救われました。

地震直後の道路はどこもかしこもひび割れ、段差ができ、めちゃくちゃな状態でした。救急車が、瓦礫や段差のせいでパンクしたり、立ち往生したりしている光景を目にしました。道路は私たちの日常生活を支えるだけでなく、命を繋ぐ大切なライフラインなのだと、身をもって痛感しました。



あれから少しずつ復興が進み、子どもたちが遊べる場所も増えてきました。これから先、子どもたちが笑顔で安心して暮らせる能登になることを願うとともに、ご支援くださった皆様への感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。

3 回目の道しるべと私のゴルフ道



丸建道路株式会社

金沢支店 営業部長 山口 竜 博

私がこの『道しるべ』に投稿するのは、入社してから3回目となります。

1回目は、平成10年『我が社の元気くん』

2回目は、令和7年『二人三脚』思えばここまでできたもんだ

そして今回の3回目は、今回の『春のゴルフ大会』です。

(なぜ? 私が? 道しるべ? ゴルフ大会?) (心の声です)

この3回目の経緯を少し話します。

あれは確か、5月28日(木)13:00頃に、業界の大先輩(N様)から依頼がありました。

いやー私、優勝でもブービーでもないのですが・・・(これは罰ゲームかなあ?)

その先輩からは、『今年から協会の総務委員1年生との事もあり、山口よろしく』と、上手い事乗せられた次第であります。(大先輩である(N様)から言われれば、断れませんか～)



さて、本題に入ります。私のゴルフ道、平成7年に入社して直ぐに、会社の先輩からゴルフをしてみるかと誘われ始めました。

平成7年9月、初ラウンド(旧和倉ゴルフ)で、スコア134(1バーディー)こんな時はルールもゴルフ用語も分からない時でした、初ラウンド終了した時には、何と楽しいスポーツな

んだと思いましたし、難しいスポーツだとも思いました。で、ハマってしまいました。平成12年に100切・平成13年に90切・その後は、調子のいい時は80台・悪い時には100台を行ったり来たりして、楽しんでプレーをして来ました。

令和2年より、長男(当時21歳)もゴルフを始め、毎月1回は一緒にプレーしに行っています。(7回に1回程度・グロスで負ける事もあります)令和5年には、スコア79とビックスコアを出しましたが、それっきりです。



今ではゴルフ歴も長くなり、ゴルフ仲間もそこそこ居るので、ここ2、3年前からは年間35回前後プレー出来る様に、『ケガの無い・楽しくプレー・適度なルール守り』を、モットーにやって行きたいと思います。

今思うと、丸建道路の勤続年数とゴルフ年数と一緒にあり、31年目に・・・(進歩なしですね)今後、『道しるべ(ゴルフ)』の依頼が来た時には、出来れば優勝して書かして欲しいです。ちなみに、今回のゴルフ大会は、今年ワーストの106でした。



入社してからの1年間



盛進工業株式会社

工事部 プラント課 平澤 祥人

私は父親が地元の建設関係の会社に就職していることもあって、建設工事や重機に興味があり、建設関係の仕事に進みたいと考えていました。高校生の時に企業体験で盛進工業は知っていたので、昨年5月に盛進工業に入社しました。入社後はプラント工場に配属され、アスファルト合材の出荷について携わらせていただき、今日も主に出荷業務を担当しております。



学生時代にはバイトを経験しておりましたが、社会に出て仕事をするのがはじめての職場でとても不安でした。まず職場の人とコミュニケーションをとらなければと必死になり、“とにかく挨拶だけは自分から行うこと”を心掛けました。皆さん優しくて気さくに話しかけていただいて、心配していた不安が吹き飛びほっとしたのを覚えています。

私は道路工事について何も知らない状態からのスタートでした。舗装工事はどのような手順で行われているのか。それすらもわからない状態のスタートにも関わらず、自分の担当になるアスファルト合材が、どのように出荷されているのかプラントの構造や仕組みを覚えなくてはいけなかったため、ある程度理解できるようになるまでとて

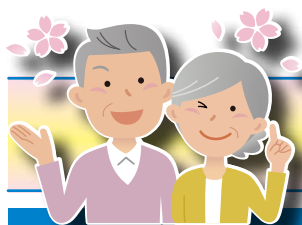
も大変でした。

とりあえず問題なく出荷業務をこなせるようになると、次はタイヤショベルに乗るために大型特殊免許と車両系建設機械の免許を取りに自動車学校に通わせていただくことになりました。少し緊張はしたものの小さいころから好奇心があったため、楽しく通うことができました。

冬までには免許が取得できたので除雪作業に初めて参加しました。まずは、上司のやっているショベルの動きを後ろから邪魔にならないようについていき、一通りどのようにやるか、雪はどこに排雪するのかなど写真も撮りながら除雪ルートも踏まえて頭に叩き込みました。その後日、さっそく実践させていただくことになりました。会社の駐車場で練習をして感覚をつかんだところで、早速契約しているファミリーレストランの広い駐車場を担当しました。会社の駐車場とは全く違う緊張感で、早朝とはいえ人や車が急に現れてもおかしくないため周りに気遣いながら作業するのはとても疲れました。



入社してからあっという間の1年間でした。これからまだまだ覚えていくことは山ほどあると思うので、仕事を頑張って覚えて早く周りに認められるように精進します。



二人三脚

思えばここまで来たもんだ

もうすぐ銀婚式



「大切な夫婦のトリセツ」

北川ヒューテック株式会社

金沢本社 山本 秀 克

思えば結婚して既に24年が経過しようとしています。

「二人三脚」のコーナーに投稿することになって、夫婦間で何をどう助け合ったかを考えてみたところ、何も思い浮かばないので、これまでのことを振り返ってみることにしました。

会社に入社し同じ部署で13年を過ごしたころ他部署への転勤を命ぜられました。これを機に当時付き合っていた妻と結婚することに。異動先は東京の事務所であった。妻は石川県輪島市の生まれで、都会での生活に憧れがあったようで、東京生活は夢が叶ったようでした。ちなみに私は石川県以外での生活は初めてで、自動車の無い生活など想像したこともなく、満員電車での通勤に日々戸惑っていました。仕事が終わり何とか社宅マンションに戻ると、妻はデパ地下巡りに勤しんでおり無人の部屋であったことも度々。（都会生活を満喫していた！）

そのような生活を過ごしていた結婚2年目に長男を授かり無事誕生。子育てはと言うと、週中は妻が、週末は私が担当という分担制でなんとか子供の成長を見守ることが出来ました。千葉県に引っ越した後、長女も生まれ、にぎやかで幸せな毎日を過ごしていた頃、関東生活での9年目に東日本大震災が発生しました。当時は地震よりも原子力発電所事故が

我が家に及ぼした影響は大きかったです。被曝地域のニュースが日々放送される度に妻の心配は大きくなり、妻は子供たちと石川県の親元へ一時避難することに。子供の安全を第一に考えてくれたことに感謝したことを思い出します。

その後石川県への異動、再びの東京勤務（単身赴任）から現在の部署へと時は過ぎました。

これまでの我が家の生活で大過なく過ごすことが出来た秘訣を妻に相談してみたところ、お互いの地雷を踏まないための夫トリセツと妻トリセツの活用が大事であることがわかりました。

夫婦互いに多少のことには目を瞑り、相方を尊重する気持ちを大切にする「夫婦のトリセツ」を充実させ今後の生活を楽しみたいものです。



事務局アラカルト

1. 石川県アスファルト合材協会 通常総会 (R8.5.14)

令和8年度通常総会は、金沢ニューグランドホテルにて開催されました。

北川会長から「県との対策会議の中で、中東情勢の影響により原油価格が高騰しており、更に上昇となれば合材出荷が困難になり、復興対応も難しくなると強く山野知事に申し上げた。これからも情報を密にし合材協会として県に申し入れをしていきたい。」との挨拶がありました。

総会では、令和7年度の事業報告・収支決算及び令和8年度事業計画・収支予算並びに役員選任が審議され、いずれも異議なく承認されました。役員には、北川会長、瀧田副会長、清水監事の再任に加え塩谷理事が新任され、理事・監事5名が選任されました。



2. 工場立入調査《石川県アスファルト合材協会》 (R8.6.16～25)

石川県アスファルト合材協会の工場立入調査は、毎年6月に実施しており、令和8年度は6月16日～25日にかけて県内全11工場で実施しました。

この調査は、プラント工場から選出された品質管理技術委員が、自社以外のお工場の立入調査を行うもので、協会一丸となって品質のいいアスファルト混合物の製造・出荷に努めています。

調査では、アスファルト混合物の使用材料や混合物の管理品質状況について頻度・規格などを確認するとともに、調査当日の出荷混合物の性状確認や混合時間・混合温度などを調査しています。また法定資格取得状況、各種の届出状況、環境対策状況なども確認しています。



3. (一社) 石川県舗装業協会 定時総会 (R8.6.30)

当協会の令和8年度定時総会が、全会員14社が出席の上、金沢東急ホテルにて開催されました。

冒頭、北川会長から、「中東情勢によりストレートアスファルトや重油などの原材料上昇に加え、一昨年の時間外労働の規制、昨年の熱中症対策の作業時間短縮などがある中で、復旧・復興活動に取り組むのは大変なことだ。今年度も課題があれば、協会が結束して対応を図っていく活動を行ってきたい。」と挨拶がありました。

総会では、令和7年度の事業報告・収支決算及び令和8年度事業計画・収支予算が審議され、全て原案通り承認されました。



また、総会後は、石川県土木部の宮本義浩技監から「令和8年度土木部事業概要」と題した講演会が開催され、会員代表や委員ら40名が熱心に聴講しました。



4. 安全衛生・環境パトロール

《石川県アスファルト合材協会》(R8.7.3)

(一社)日本アスファルト合材協会の労働安全環境委員会による安全衛生・環境パトロールが、北川ヒューテック(株)手取合材所で行われました。

このパトロールは、各プラント工場の労働安全・環境対策に資する目的で、今年度は、①前年災害事故報告の対策、②健康・化学物質管理の対応、③産業廃棄物・環境対策の活動を重点項目として、本県合材協会からは吉野安全環境委員長らが同席して、日合協本部の高浦克志氏、保倉直二氏により実施されました。



《いしかわ我がまちアプト制度の活動》



((主)金沢美川小松線・金沢市間明町 2026 春)

災害対策委員会による要望など

1. 災害対策委員会による要望活動（R8.1.20～2.17）

「災害対策委員会」は、災害復旧工事を進めるに際し、プラント・工事・営業関係が情報共有して、障害となる課題の解消を図ることを目的として設置した特別委員会です。

昨年8月から委員会を3回開催して議論した結果について、国土交通省や石川県及び県内19市町に対して、協会員社長数名とともに要望活動を実施しました。

（要望内容）

- ・ A S 殻廃材の処分先の確保
- ・ A S 再生資材の有効利用拡大
- ・ 中間処理施設における運用基準等の緩和（県のみ）
- ・ 災害復旧工事での人員確保と適切な積算対応（市町のみ）



五十川金沢河川国道事務所長【国土交通省】



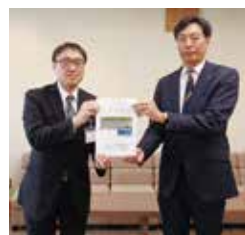
杉本能登復興事務所長【国土交通省】



成瀬生活環境部長【石川県】



本土木部長【石川県】



山本担当次長【金沢市企業局】



西村道路建設課長【金沢市】



茶谷市長【七尾市】



越田副市長【小松市】



田川技監【輪島市】



大宮環境建設課長【珠洲市】



山田市長【加賀市】



前田産業建設部長【羽咋市】



庭田産業建設部長【かほく市】



横川副市長【白山市】



飯田副市長【能美市】



栗市長【野々市市】



本多産業建設部長【津幡町】



山崎副町長【内灘町】



稲岡町長【志賀町】



高下町長【宝達志水町】



宮下町長【中能登町】



吉村町長【穴水町】



野口副町長【能登町】

2. 中東情勢による県土木部への緊急要望 (R8.4.17)

中東情勢に伴う原油の供給不足が懸念され、アスファルト混合物（以下「合材」という）のストレートアスファルト等の原材料や重油等の燃料に対し、合材プラント工場が購入先から制限する旨の連絡を受け、今後も更に影響が拡大し、合材の出荷制限・停止という事態となれば、復旧・復興の大きな遅れに繋がります。また、価格面でも大幅に上昇しており、5月以降も引き続き合材価格の更なる値上げが懸念されました。

そのため、北川会長をはじめ協会役員数名は、木村土木部長ら県庁幹部に対して、関係者への働きかけや最新の資材価格を反映した設計価格などの緊急要望を行いました。

(要望内容)

- ・合材の原材料や燃料の供給に配慮いただけるよう、関係者への働きかけ
- ・合材価格は、最新の資材価格動向を的確かつ迅速に反映した設計価格
- ・スライド条項、受注者の責によらない工期延期等の適切かつ柔軟な対応



3. 石川県中東情勢に関する対策会議 (R8.4.30)

中東情勢の緊迫化に伴い、全国的に石油由来資材の価格高騰や供給の遅れが生じており、こうした状況を踏まえ、石川県における影響の把握及び今後の対応の検討を目的として、山野知事参列の下、「石川県中東情勢に関する対策会議」が地場産業振興センターにて開催されました。

この会議には、県のほか、国、金融団体、支援団体及び業界団体が出席しており、建設関係として（一社）石川県建設業協会と当舗装業協会が参加し、北川会長は、以下の趣旨を話されました。

(業界への影響)

- ・道路舗装に必要な合材について、中東情勢に伴う原油の供給不足が懸念されており、原油から精製されるストレートアスファルト等の原材料や重油等の燃料に対して、合材製造工場は購入先から状況によっては出荷制限の旨の連絡を受けている。
- ・現時点では、合材の出荷制限はないが、今後、更に影響が拡大して合材の原材料等の調達が困難となり合材が出荷制限・停止となれば、現場がストップすることとなり危惧している。
- ・原材料等の高騰により、合材価格が大幅に上昇しており、更なる値上げが懸念される。



(一社)石川県舗装業協会

令和8年5月22日(金): 能登カントリークラブ
(はまなす→宝達コース)

		G	H	N
優勝	井川大輔(沢田)	81	8	73
準優勝	高橋 斉(吉田)	99	25	74
3 位	出倉大和(三友)	96	21	75

ベスグロ賞…坂井 繁(盛進) 81

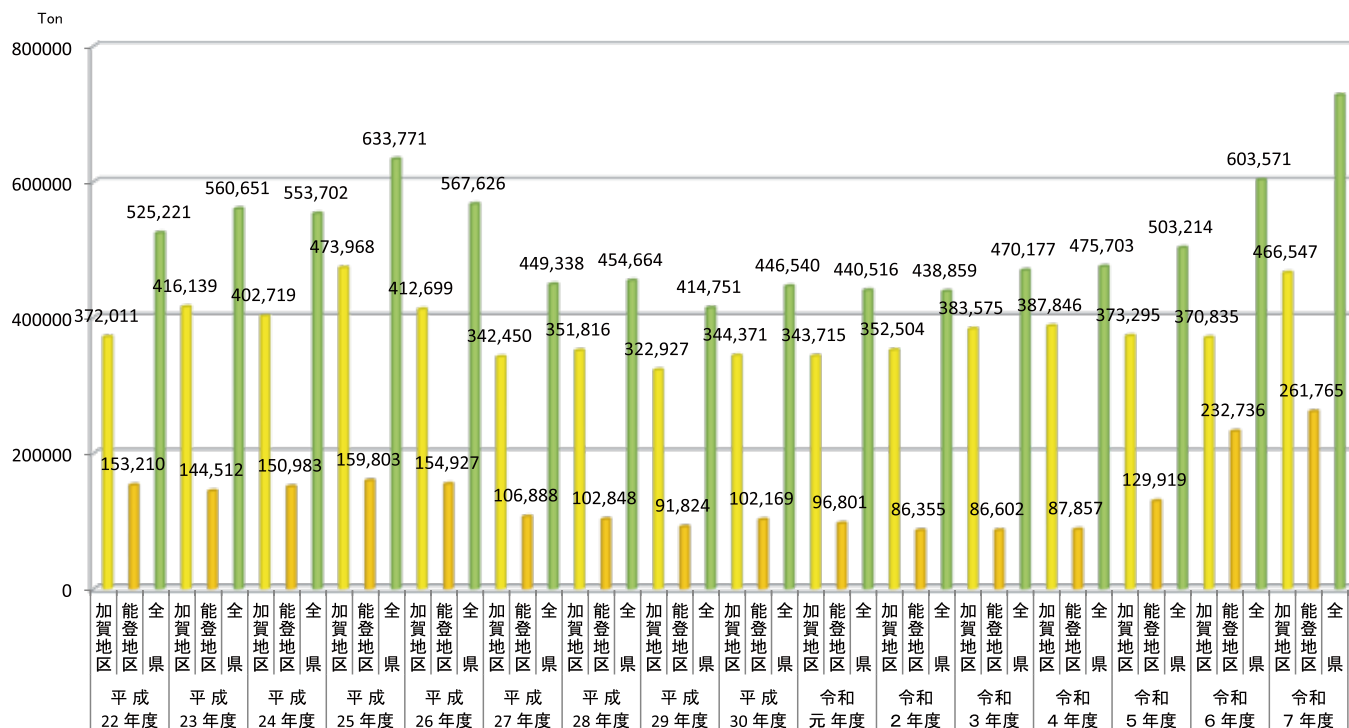
石川県アスファルト合材協会

令和8年6月16日(火): 片山津ゴルフ倶楽部
(加賀コース)

		G	H	N
優勝	丹園茂樹(沢田)	97	21	76
準優勝	清水廉太郎(太陽)	91	14	77
3 位	北野晴比古(石川)	89	11	78

ベスグロ賞…北川 隆明(北川) 82

平成 22 年度～令和 7 年度 アスファルト合材製造量



編集後記

この編集後記が掲載される頃に、すでに使われているでしょうか“酷暑日”？

気象庁は今年4月17日、近年の夏には記録的な暑さが続いており、最高気温40℃以上の日の名称を正式に「酷暑日(こくしょび)」という新しい用語を定義づけました。口にするだけで暑そうなので、わたしは使わないでしょう。

昨今は、気候変動や生成AIの急速な普及、国際情勢等、めまぐるしい変化の連続です。変化には時代の流れや希求によるもの、または自然発生的に変わっていくものなど様々です。いつの時代でも変化は求められますが、変わらず守っていくべきものがあると思います。

わたしたちは、今後も変わることがないであろう重要な生活基盤である、道路を造るという責任ある業務に携わっております。自信と誇りを持って、この夏を乗り切りましょう！

また、8月にご先祖様をお迎えし供養する旧盆であります。毎日を健やかで過ごせていることに、御先祖様へ感謝と畏敬の念を忘れずに、お参りに行きたいと思います。

私は、来年の健康診断結果の改善を求め、食後の甘いものを減らすよう努めます。

編集委員 坂下 勇〈吉田道路(株)〉



(主)小松辰口線〔遊泉寺町から軽海町を望む〕



(防水)



(舗装)



(転圧)



(完成)

遊泉寺大橋の橋面舗装

「道しるべ」最新2号分は、
(一社)石川県舗装業協会のHPで閲覧できます。
<http://www.ishihokyo.or.jp/>



私たちは100%リサイクルに努力しています
アスファルト廃材はお近くの合材プラントへ!



加賀アスコン株式会社 ブルーアステック

石川県アスファルト合材協会